ゆり組　パート2

～リレー遊びを通して～

悔しい気持ちと向き合う

負けても皆で泣き真似をして、次また頑張ろう！の気持ちが育った子ども達。

リレー遊びを楽しむ中である日「わ～ん！悔しい～！」と、泣き真似をしていたら、相手チームから「あはははは！」と笑い声が。負けたチームからは一緒になって笑う子と、複雑な表情になる子がでました。

負けて悔しいっておもしろいことかな？
色々な気持ちに気付けるといいな。
皆に気持ちを聞いてみよう。

その場で「みんな負けた時ってどんな気持ち？」と聞いてみました。

「悔しい気持ち」「悲しい気持ち」
「次がんばろうって気持ち」

保「そうだよね、だから皆で泣くんだよね。じゃあ勝ったチームはどうするといいだろう？」

「『頑張ったね！』って拍手してあげる」
「『次頑張ればいいよ」って言う」

思い思いに、相手を思いやる言葉が出てきました。

リレー遊びを通しての学び

勝ててうれしい！でも、負けた子は今どんな気持ちだろう・・・？

リレー遊びは自分の気持ちや友達の気持ちを考えるきっかけとなりました。

悔しい気持ちにどう折り合いをつけていくのか、**自己を調整する力、**

相手を思いやる力が、様々な遊びを通して少しずつ育っています。